

報告事項ウ

平成31年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査結果（得点状況等）について

平成31年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査結果（得点状況等）について、別紙のとおり報告します。

平成31年4月18日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

平成31年度鳥取県立高等学校  
入学者選抜学力検査における得点状況

鳥取県教育委員会

## 平成31年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査における得点状況

### 1 教科別得点の平均点及び総得点の平均点(全日制課程)

※追検査は含みません。

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
平成31年度	26.9	30.1	27.3	31.3	24.6	140.3

平成31年度入学者選抜学力検査5教科受検者数 3,371人  
各教科50点満点、合計250点

(参考) 過去10年間

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
平成30年度	29.9	30.4	24.6	28.6	27.7	141.2
平成29年度	28.3	27.6	27.4	31.4	29.1	143.8
平成28年度	27.9	27.4	25.2	30.6	30.3	141.3
平成27年度	29.6	33.4	26.4	27.2	28.9	145.5
平成26年度	25.6	24.9	28.5	26.7	30.7	136.3
平成25年度	23.5	27.1	27.5	25.2	27.1	130.5
平成24年度	25.3	30.0	22.8	29.2	26.6	133.9
平成23年度	24.9	29.1	23.2	29.1	26.8	133.1
平成22年度	29.1	30.2	26.5	25.4	22.2	133.3
平成21年度	25.2	24.9	29.5	23.2	23.7	126.6

<学力検査得点状況に見られる傾向>

国語・・・ 基礎的・基本的な言語事項を問う問題から総合的な思考力・判断力・表現力を問う問題まで幅広く出題した。言語事項を問う問題においては、問題によって正答率に大きな差が見られた。また、読み取った情報を与えられた条件に従って的確に表現する力を問う問題が多く、昨年度より平均点が下がったと考えられる。

社会・・・ 基礎的・基本的な知識、概念、技能を問う問題や基礎的・基本的な知識を活用した理解をみる問題、また、資料を適切に活用しながら、思考・判断・表現できているかをみる問題を中心に出題した。様々な資料やグラフを読み取り分析する資料活用の習得に関する内容については正答率が高かった。一方で、基礎的・基本的な知識や概念を関連付けたり、総合的に判断したりする問題の正答率が低かった。平均点については昨年とほぼ同様であった。

数学・・・ 各学年・各領域から基礎・基本を中心にバランスよく出題するとともに、数学的な表現を用いて説明する問題を出題した。事象から条件を把握して数学を用いて表現する問題や、小数や分数、割合を扱う問題、三平方の定理を活用する問題は正答率が低かった。しかし、その他の基本的な計算や単純に数値を求める問題、三角形の合同の証明問題などの正答率が高かったため、昨年より平均点が高くなったと考えられる。

理科・・・ 様々な分野の基礎的・基本的知識の理解度を問う問題から、実験・観察の結果や問題文中の条件を読み取り、それをもとに考察(計算も含む)する問題を出題した。基礎的・基本的知識の定着が見られたこと、問題不備があった設問について、全受検生の解答を正解としたことにより、昨年度より平均点が高くなったと考えられる。

英語・・・ 3つの領域を中心に、知識や技能の定着に加え、それらを活用した思考力、判断力、表現力等を測るために、実生活で見られる会話やまとまりのある文章を題材に出題した。求める情報を直接的に聞き取ったり読み取ったりする問題の正答率は高かったが、基礎的な語句や表現を問う設問において、適切に記述できていない解答が多く、昨年度より平均点が低くなったと考えられる。

## 2 各教科及び総得点における得点分布(全日制課程)

【各教科における度数分布】

(人)

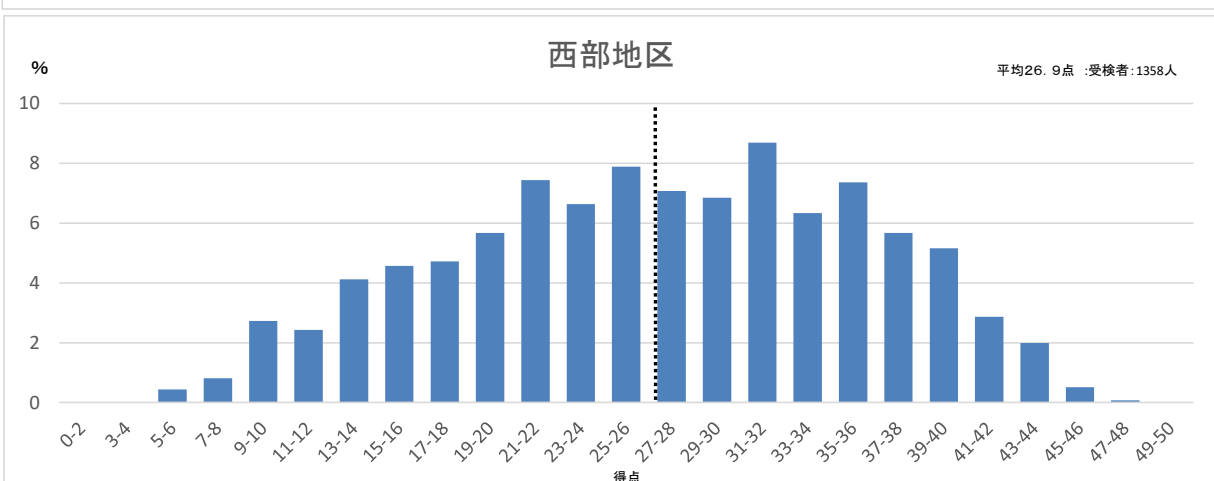
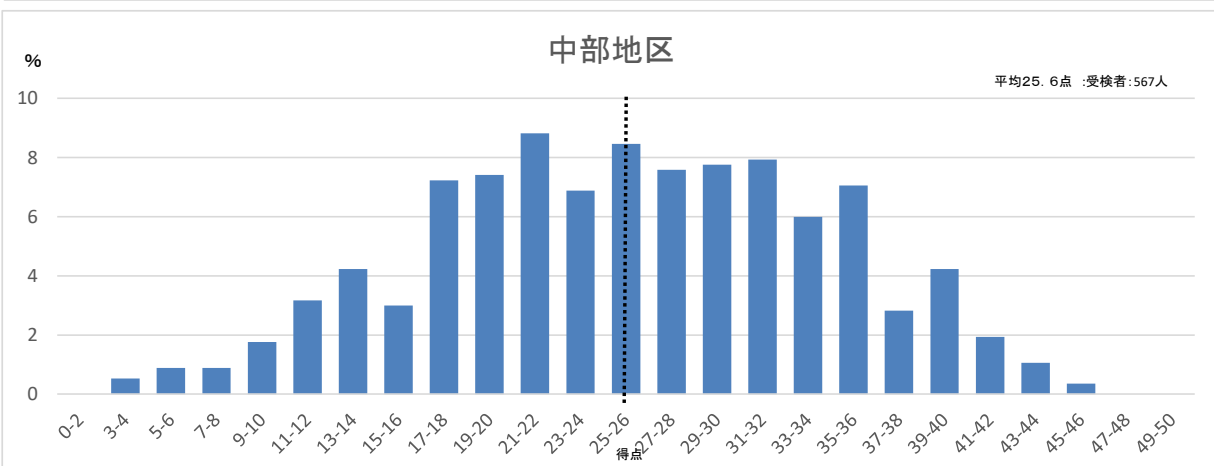
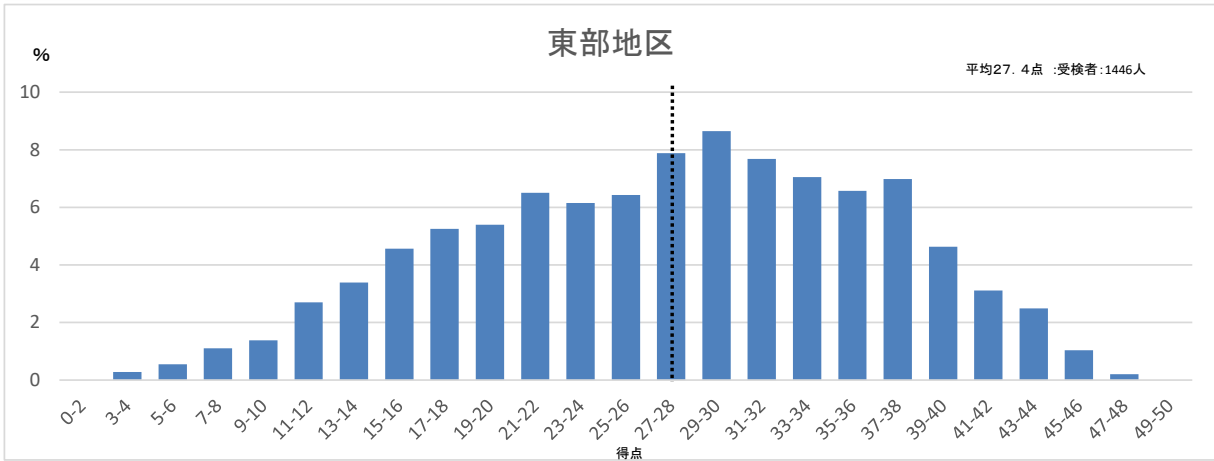
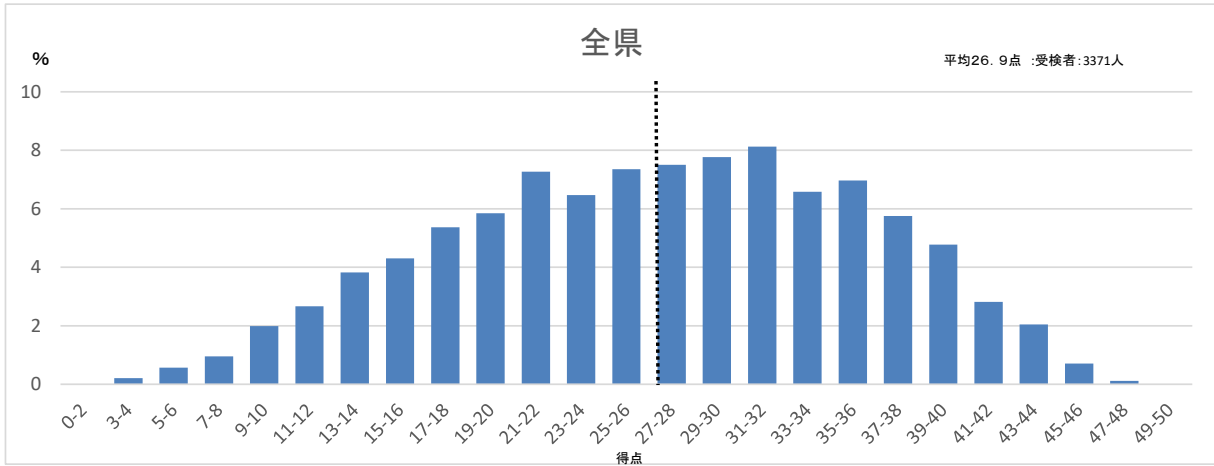
得点	教科	国語	社会	数学	理科	英語	
0	～	2	0	1	30	0	31
3	～	4	7	12	46	1	57
5	～	6	19	36	73	4	113
7	～	8	32	50	95	32	165
9	～	10	67	72	77	48	167
11	～	12	90	100	109	69	144
13	～	14	129	121	99	106	165
15	～	16	145	125	118	100	167
17	～	18	181	150	128	122	150
19	～	20	197	136	161	145	181
21	～	22	245	150	140	146	148
23	～	24	218	149	151	190	176
25	～	26	248	168	172	180	196
27	～	28	253	155	217	169	189
29	～	30	262	165	242	165	169
31	～	32	274	197	233	192	178
33	～	34	222	195	268	209	166
35	～	36	235	204	252	253	134
37	～	38	194	212	238	208	131
39	～	40	161	196	188	239	158
41	～	42	95	236	136	200	129
43	～	44	69	196	109	237	100
45	～	46	24	187	54	192	78
47	～	48	4	117	28	111	50
49	～	50	0	41	7	53	29
受検者数		3,371	3,371	3,371	3,371	3,371	

【総得点における度数分布】

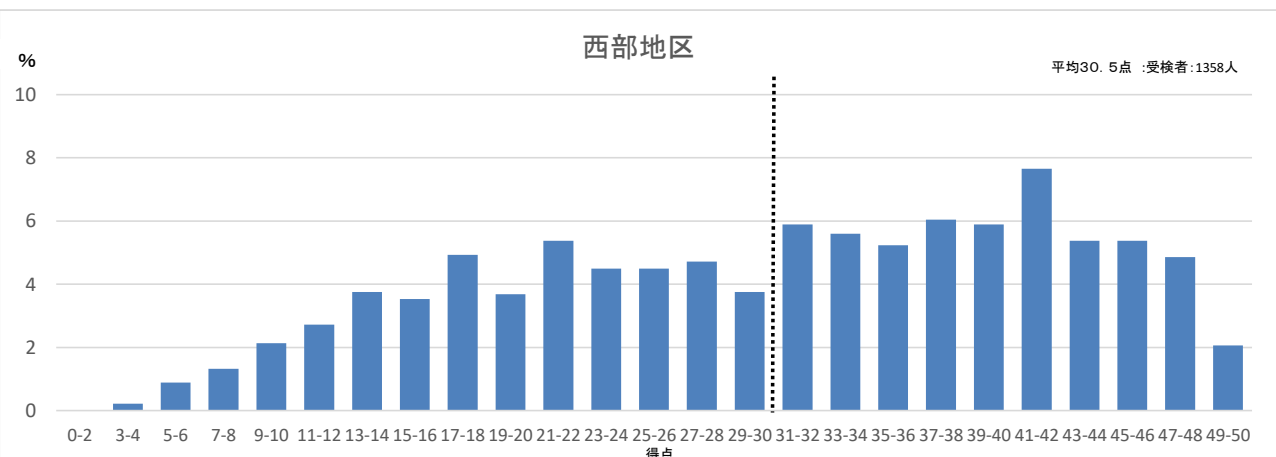
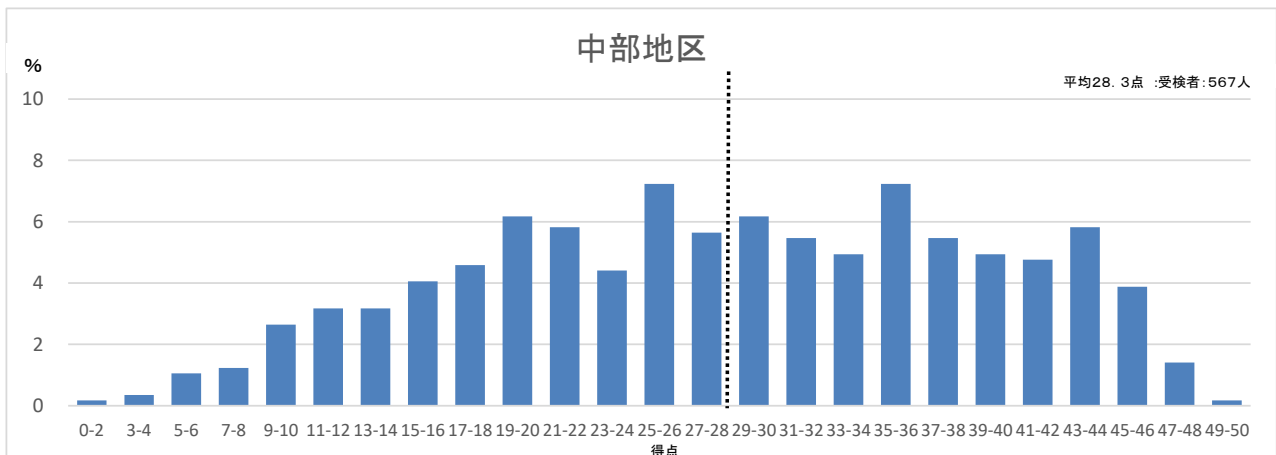
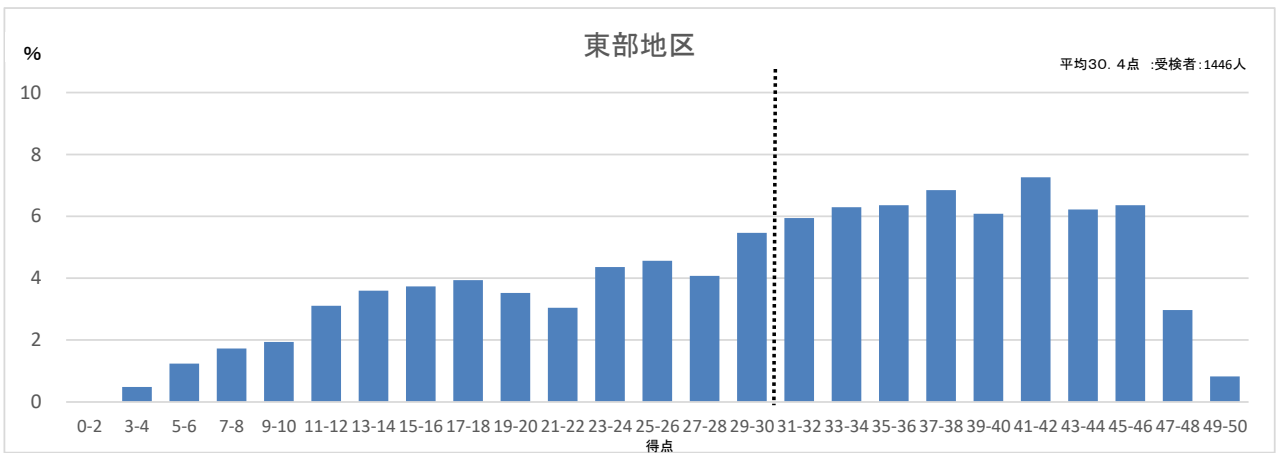
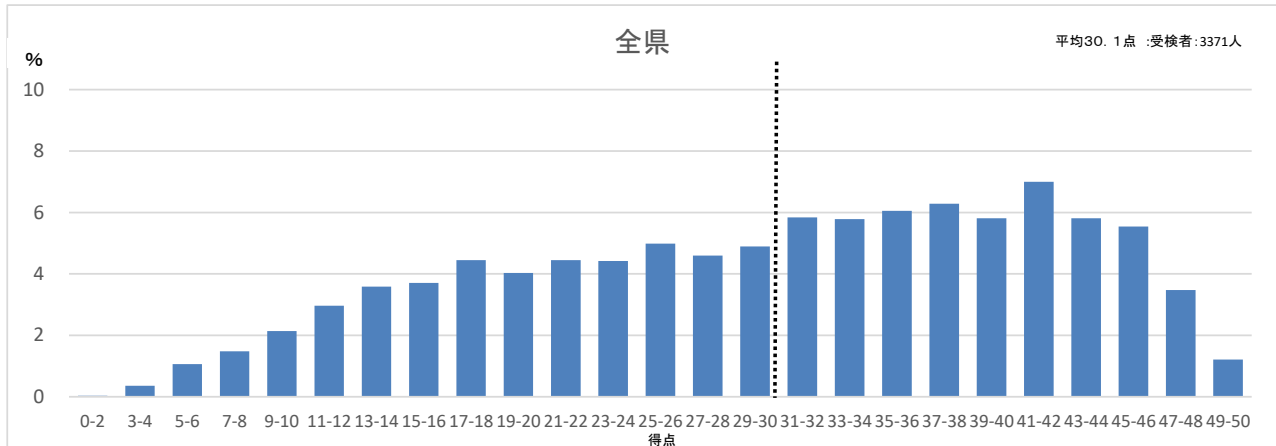
総得点	人数		
0	～	5	0
6	～	10	0
11	～	15	0
16	～	20	0
21	～	25	4
26	～	30	7
31	～	35	11
36	～	40	21
41	～	45	34
46	～	50	43
51	～	55	49
56	～	60	64
61	～	65	60
66	～	70	57
71	～	75	62
76	～	80	82
81	～	85	86
86	～	90	76
91	～	95	91
96	～	100	92
101	～	105	75
106	～	110	80
111	～	115	103
116	～	120	84
121	～	125	105

総得点	人数		
126	～	130	114
131	～	135	109
136	～	140	98
141	～	145	117
146	～	150	93
151	～	155	102
156	～	160	116
161	～	165	112
166	～	170	114
171	～	175	128
176	～	180	128
181	～	185	109
186	～	190	119
191	～	195	125
196	～	200	113
201	～	205	99
206	～	210	84
211	～	215	76
216	～	220	60
221	～	225	32
226	～	230	20
231	～	235	9
236	～	240	7
241	～	245	1
246	～	250	0
受検者数		3,371	

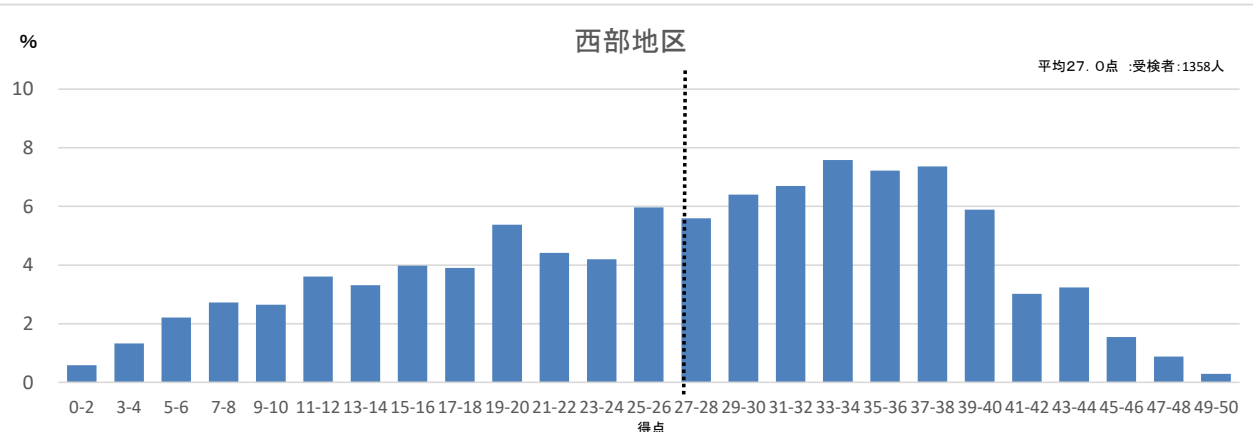
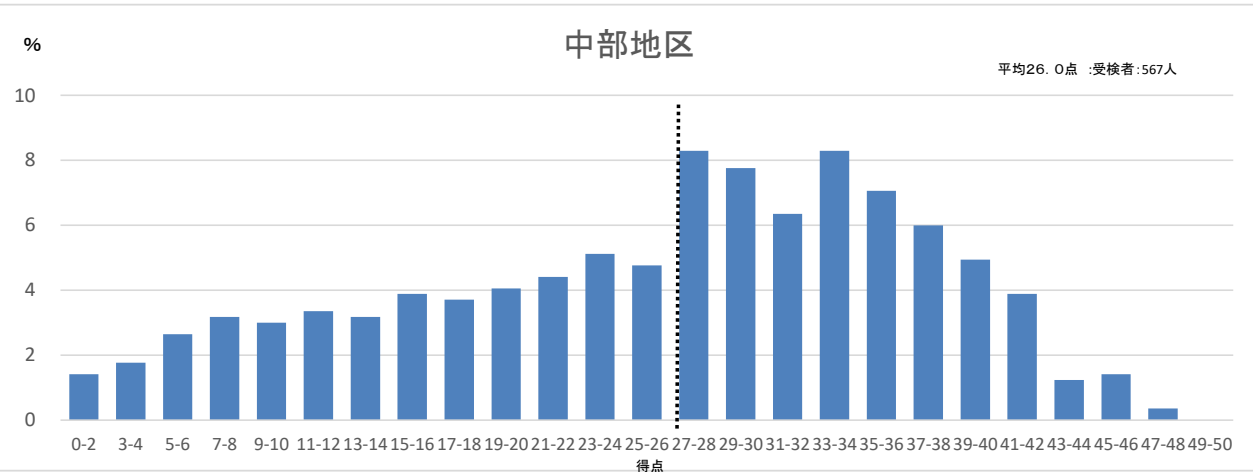
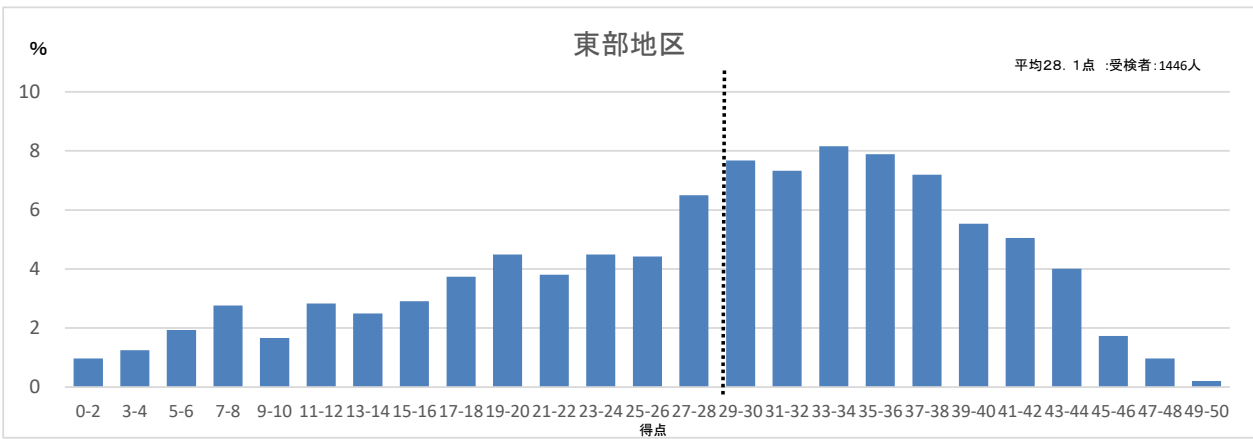
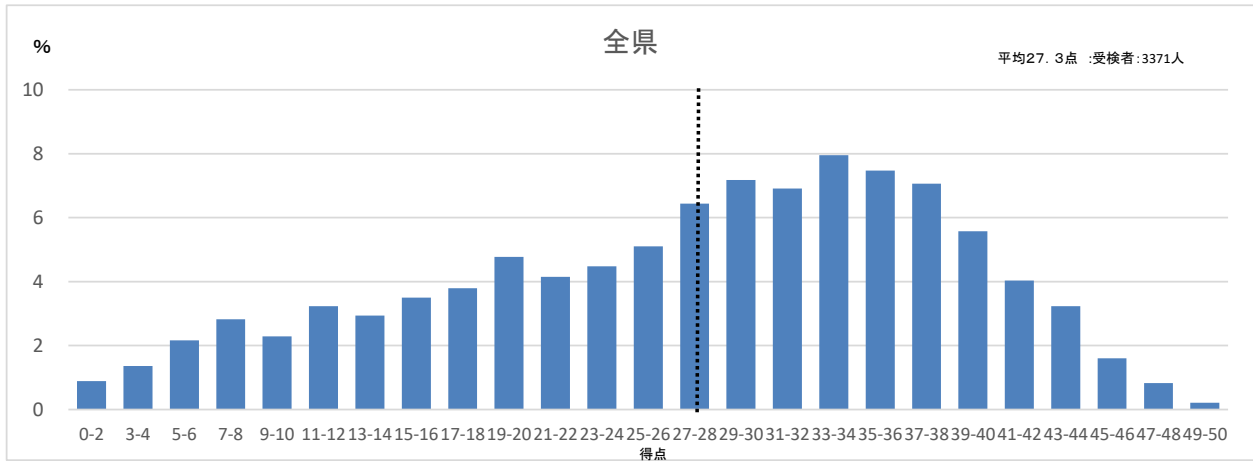
# 平成31年度 入学者選抜学力検査における得点状況【国語】



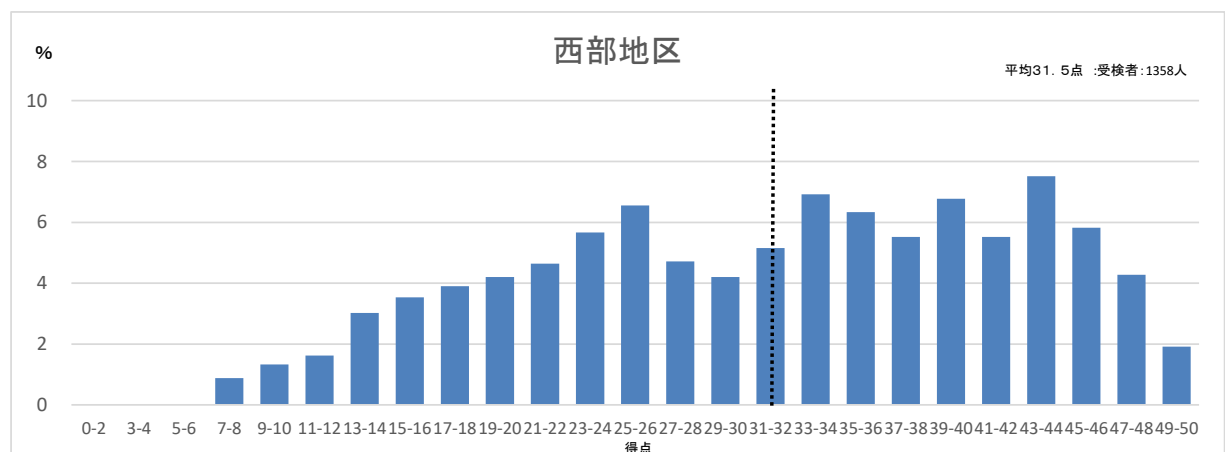
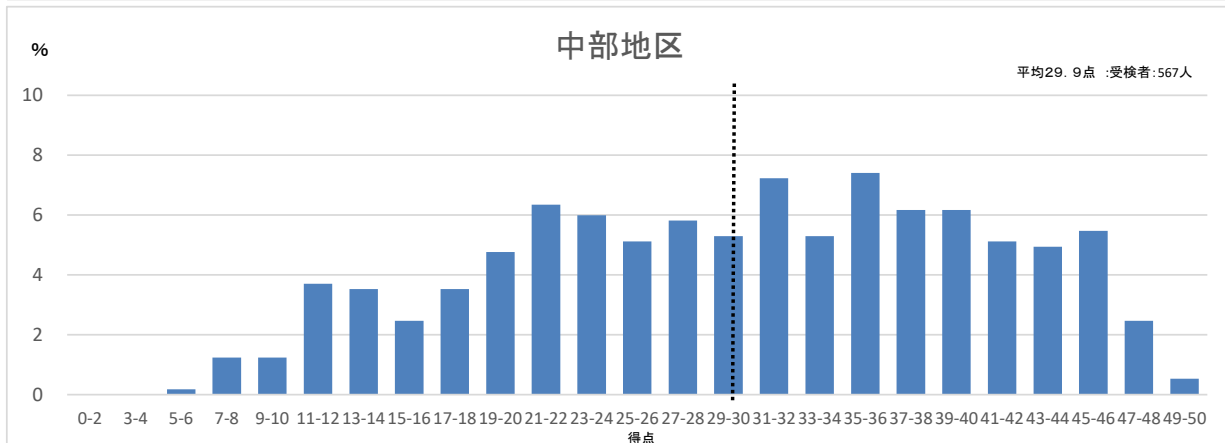
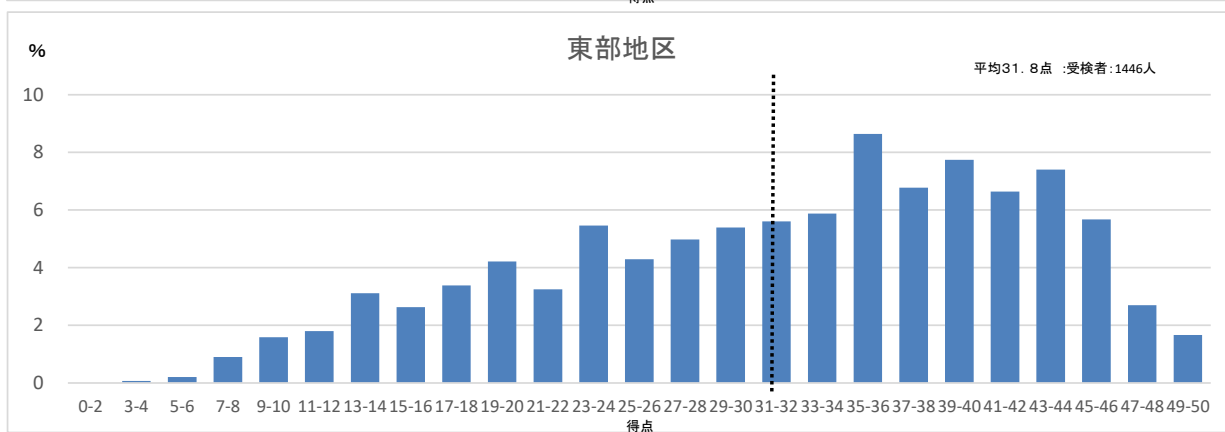
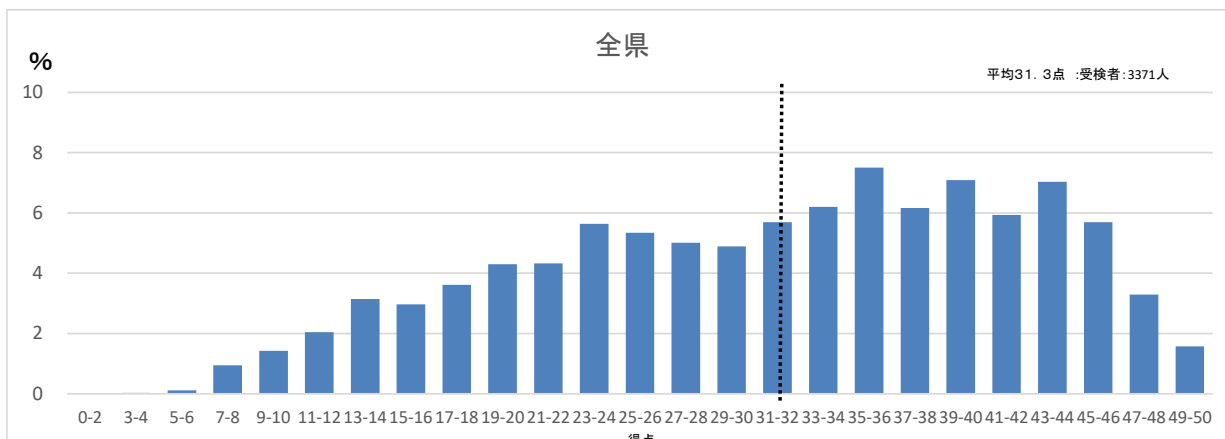
# 平成31年度 入学者選抜学力検査における得点状況【社会】



# 平成31年度 入学者選抜学力検査における得点状況【数学】

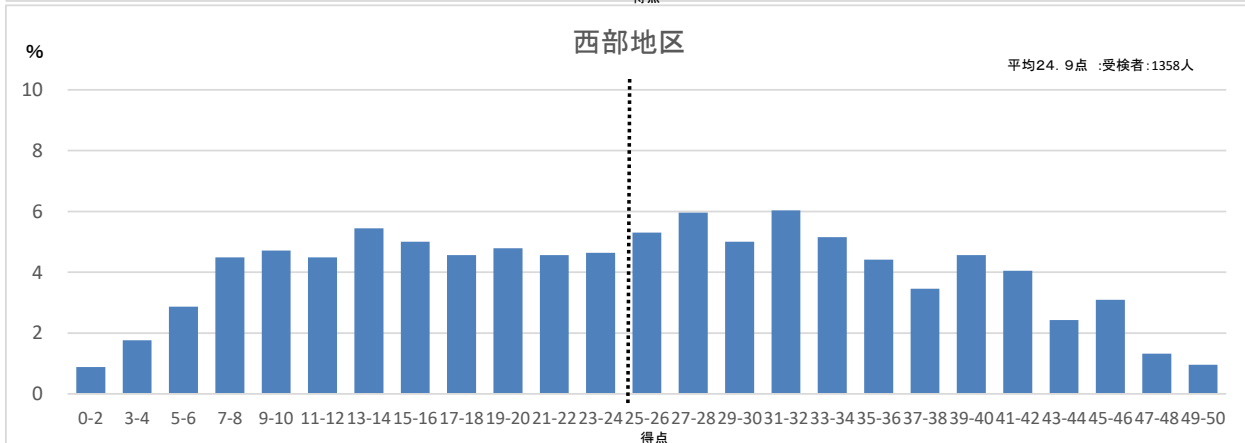
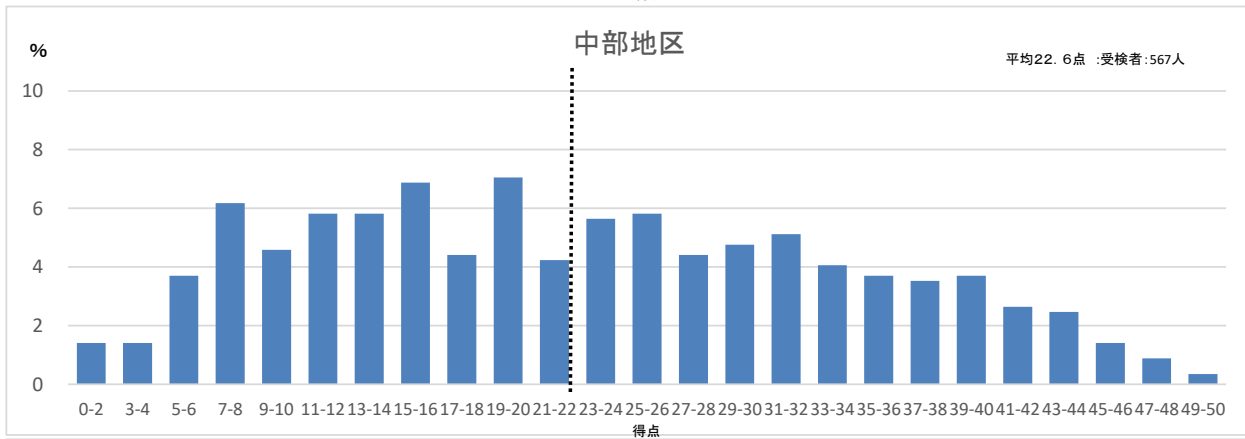
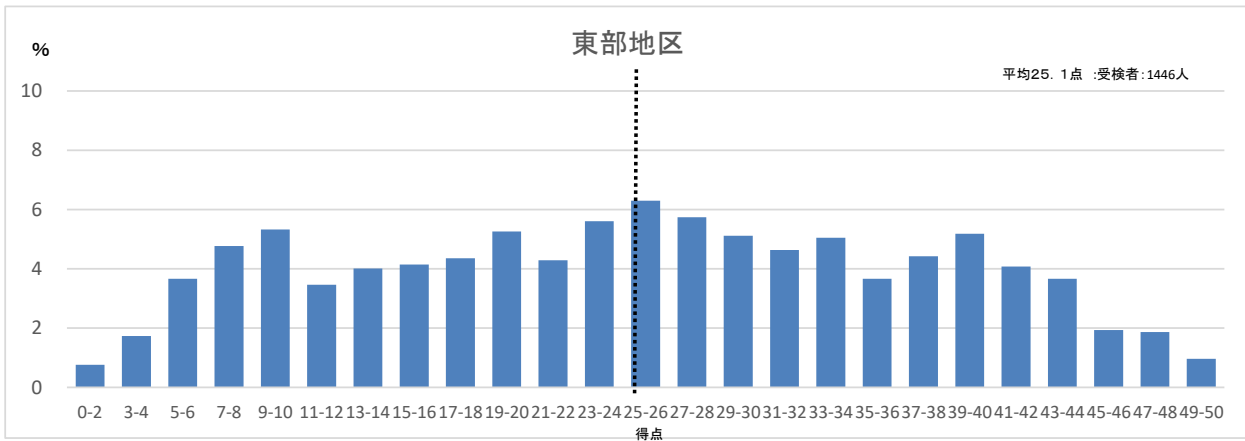
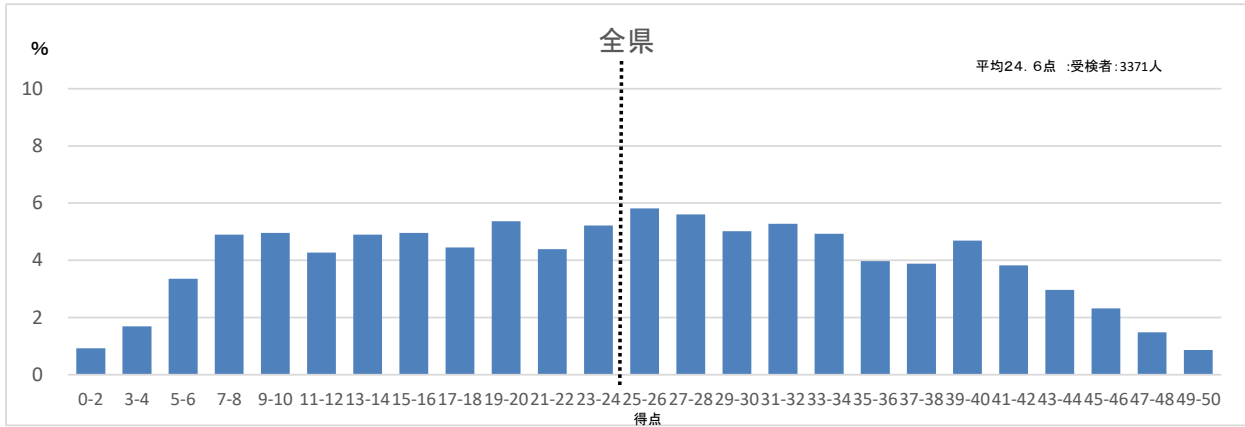


# 平成31年度 入学者選抜学力検査における得点状況【理科】

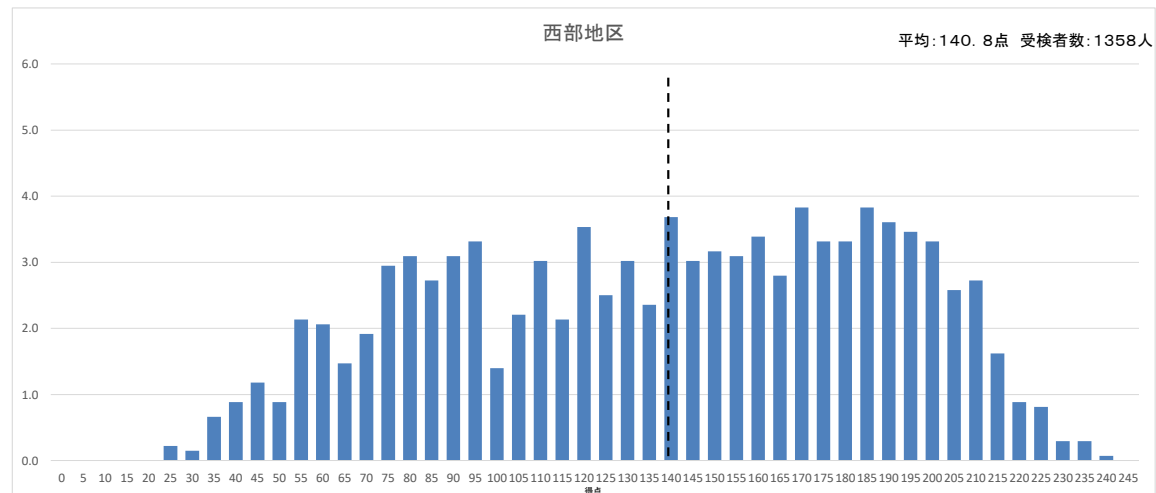
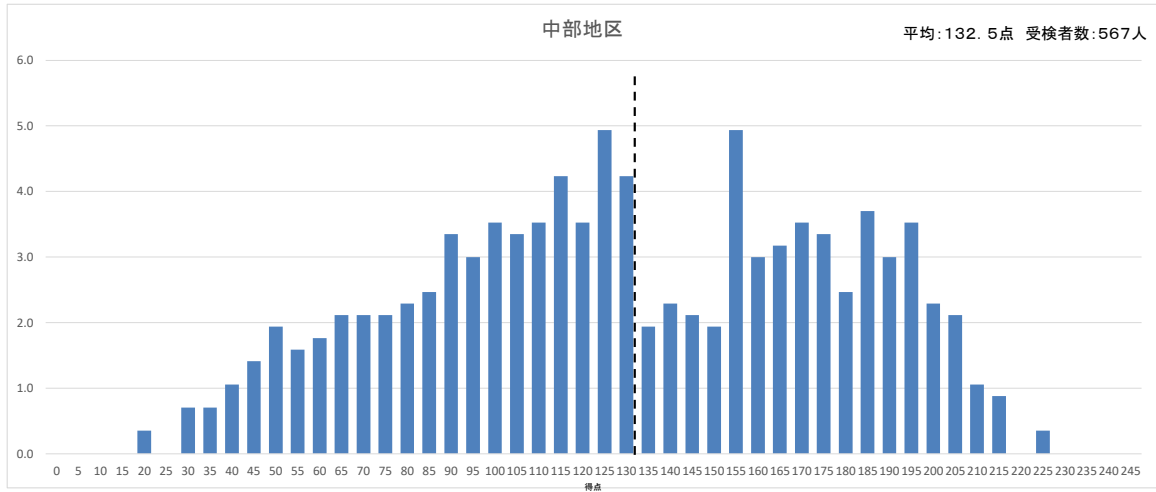
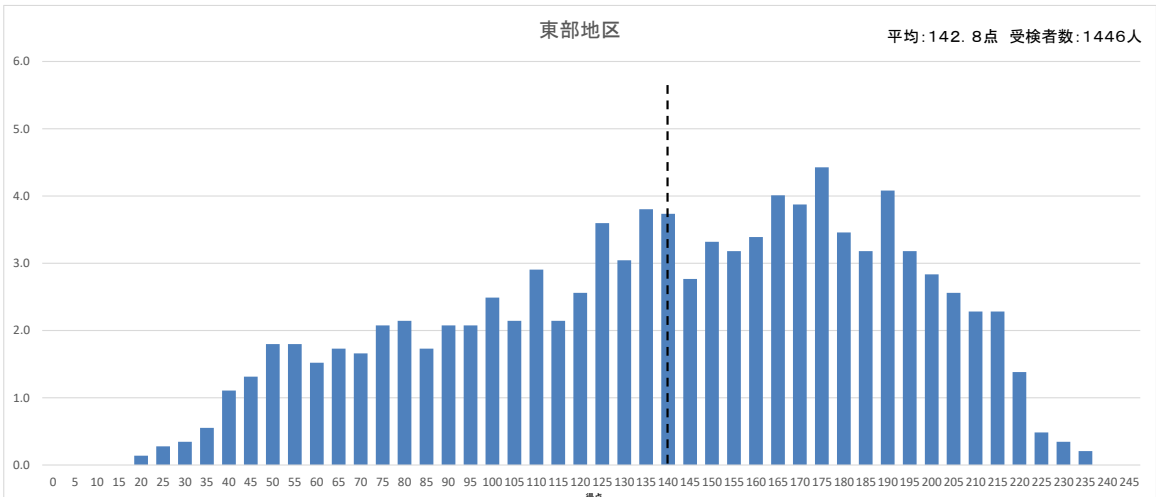
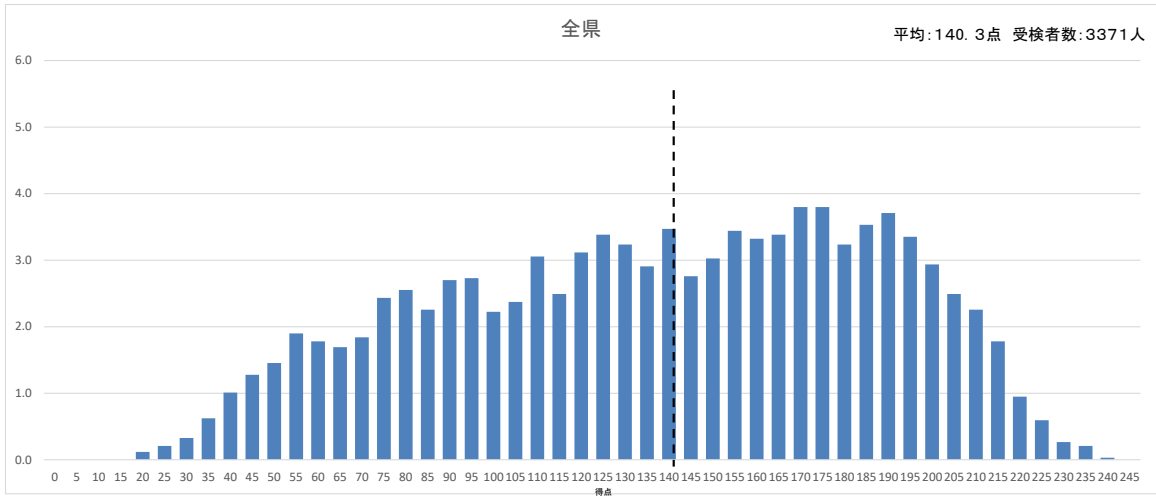




# 平成31年度 入学者選抜学力検査における得点状況【英語】



# 平成31年度 入学者選抜学力検査における得点状況【総得点】



平成31年度鳥取県立高等学校  
入学者選抜学力検査分析

鳥取県教育委員会

## 《 考 察 》

### 【 国 語 】

国語については、基礎的・基本的な言語事項を問う問題から総合的な思考力・判断力・表現力を問う問題まで幅広く出題した。言語事項を問う問題においては、問題によって正答率に大きな差が見られた。また、文脈を理解する力や、読み取った情報を与えられた条件に従って的確に表現する力が不足していることがうかがえた。日頃の学習において、漢字や語句、文法等の言語事項について一層の定着を図るとともに、問われていることに対して的確に表現したり、自分の考えを根拠を明確にしてまとめたりする力を育成する必要がある。また、複数の情報を読み取り、それらを整理・活用して、説得力のある文章を書く学習活動も取り入れたい。

### 【 社 会 】

社会については、基礎的・基本的な知識、概念、技能を問う問題や基礎的・基本的な知識を活用した理解をみる問題、また、資料を適切に活用しながら、思考・判断・表現できているかをみる問題を出題した。様々な資料やグラフを読み取り分析する資料活用の習得に関する内容については正答率が高かった。一方で、基礎的・基本的な知識や概念を関連付けたり、総合的に判断したりする問題の正答率が低かった。既習の知識を関連付けて考察し、表現することが課題になっていると考えられる。地理・歴史・公民のどの分野においても、日常の社会生活と関連付けながら現代社会の見方・考え方を養うことが重要である。また、多角的・多面的に考察し表現する力を育成するために、それぞれの分野を関連付けた学習や他教科とのつながりを意識した教科横断的な学習がより一層求められる。

### 【 数 学 】

数学については、基本的事項を問う問題を多く出題するとともに、表・図・グラフを活用して課題を解決する問題及び数学的な表現を用いて説明する問題を出題した。基本的な計算や単純に数値を求める問題は正答率が高かった。また、三角形の合同を証明する問題など頻出の問題については正答率が例年より高く、学習の成果がうかがえる。しかし、複数の原理原則を組み合わせて課題を解決する問題や、事象から条件を把握して数学を用いて表現する問題は、誤答率及び無答率が高かった。このことから、基礎となる事項のより一層の定着と、それらの多様な活用が必要であると考える。複数の知識に基づき論理的に考察し処理する力の育成、また、数量の関係を文字式やグラフに表すことや、それらを使って表された式やグラフの意味を理解する指導をさらに充実させることが重要である。

### 【 理 科 】

理科については、基礎的・基本的知識の理解度を問う問題から、実験・観察の結果や問題文中の条件を読み取り、それをもとに考察（計算も含む）する問題まで幅広く出題した。重要語句や基本的な知識の理解度を問う問題は正答率が高く、無答率も低かった。しかし、動物に共通する特徴を見いだす問題や、実験で発生した気体の性質を選択する問題では正答率が低かった。また、実験で生じた現象を科学的に考察して、説明する問題でも正答率が低く、無答率も高かった。平素の授業において、班で協力しながら実験や観察を進めたり、実験結果や実験で生じた現象などを科学的に考察し表現するなど、「見通しを持って実験を計画し、実行する」「他者との対話を通して、より深い考察をする」ことについて意識した授業を実施し、科学的な思考力・判断力・表現力の育成を目指した指導の工夫が必要である。

### 【 英 語 】

英語については、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3つの領域を中心に、知識や技能の定着に加え、それらを活用した思考力、判断力、表現力等を測るために、実生活で見られる会話やまとまりのある文章を題材に出題した。求める情報を直接的に聞き取ったり読み取ったりする問題の正答率は高かったが、得られる情報を求められている条件にあわせて編集して解答する問題や、解答が直接的には述べられていない問題での正答率は低かった。さらに、習熟度が高いと思われる基礎的な語句や表現が適切に記述できていない答案も散見された。今後は、話し手や書き手の意向を主体的に理解しようとする態度を育成しながら、得られる情報を組み合わせることで考察し、適切に表現する指導の充実が必要である。あわせて、場面や状況に応じて持っている知識を活用して適切にやりとりすることができるように、場面設定や相手意識が明確な言語活動を積極的に取り入れることが重要である。

## 《 国 語 》

### 【出題の基本方針】

- 1 国語の基礎的・基本的事項についての知識が身についているかをみる。
- 2 文学的な文章を読むことを通して、場面、心情、表現の特色などを的確に読み取る力や、読み取った内容を与えられた条件に従って表現する力をみる。
- 3 論理的な文章を読むことを通して、筆者のものの見方や考え方、論の展開を的確に読み取る力や読み取った内容を与えられた条件に従って表現する力をみる。
- 4 古典を読むことを通して、伝統的な言語文化に関する事項や記述された内容について、理解する力をみる。
- 5 目的や場面に応じて話すことについて、その理解力をみる。また、与えられた条件に従い、目的に応じて資料から必要な情報を読み取り、根拠を明確にして、自分の考えを文章にまとめる力をみる。

### 【結果の概要】

- 1 問題一は、小問集合形式による出題とし、基礎的・基本的事項についての知識を問う問題構成とした。漢字の読みに関する問題の正答率は高く、中学校での学習指導の定着がうかがえた。しかし、漢字の書きに関する問題、書写や和語の知識を問う問題の正答率は低かった。特に漢字の部首や筆順などを正確に理解・定着させることが必要である。
- 2 問題二は、文学的文章とし、場面や心情を的確に読み取る力を問う問題構成とした。平易な文章で受検生にとって親しみやすい内容であり、場面の状況理解は概ねできていたが、文脈にそって内容を正確に読み取る力や問われていることに対して的確に表現する力が求められる問題の正答率は低かった。場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てるとともに、読み取った内容を与えられた条件に従って表現する力の育成が重要である。
- 3 問題三は、説明的文章とし、筆者の論の展開、表現内容を理解する力を問う問題構成とした。抽象的な内容の文章は受検生にとって難易度が高かったと思われる。筆者の考えを的確に読み取る問題や、文脈の理解を問う問題の正答率は低かった。日頃の学習の中で、文章全体と部分との関係や文章の構成に着目しながら文章を解釈しようとする態度を育成する必要がある。
- 4 問題四は、古文の基本的な知識や内容を理解する力を問う問題構成とした。歴史的仮名遣いの問題は正答率が高く、古文を音読して古典特有のリズムに慣れ親しむ態度を一層育てたい。一方で、文脈を理解した上で答える問題は正答率が低かった。日頃の学習において、現代語訳や解説した文章などを適切に取り上げつつ、古典としての古文や漢文に、より一層親しむ態度を育てたい。
- 5 問題五は、言葉遣いを話題とした、学校生活でのスピーチ及び話合いの場面を設定し、話すことに関する知識や、与えられた条件に従って的確に表現する力を問う問題構成とした。資料から必要な情報を読み取ることはできているが、自分の考えを文章にまとめる力が不足していることがうかがえた。日頃の学習において、複数の情報を読み取り、それらを整理・活用して、説得力のある文章を書く学習活動を取り入れたい。

【出題の基本方針】

- 1 世界と日本の地理的事象について、地図、グラフなどの資料をもとに、その地域的特色を考察する力をみる。
- 2 日本の歴史における各時代の特色や事柄を、年表や図などの資料をもとに多面的・多角的に考察し、歴史の大きな流れなどを大観して、総合的に理解する力をみる。
- 3 日本の政治や経済、国際社会の基本的なしくみを理解し、社会的事象について今日の生活とのかかわりの中で考えて判断し、表現する力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題1は、地理的分野に関する出題とした。地域の気候や各都道府県の工業の特徴等、基礎的・基本的な知識、概念を問う問題の正答率が高く、特に問3(3)《日本の発電》の正答率は8割を超すなど、日本のエネルギー問題に関する学習の充実が感じられる。一方、問3(4)《中部地方の特色》のように特色ある地理的事象をその他の事象と関連付けてまとめる形式の問題では正答率が伸びなかった。また、問4《地形図》では、基本的な読図はできているが、縮尺から面積を求めるといった発展的な問題の正答率が伸びなかった。今後も、現在の社会動向にも関心を持たせながら、単に地域的特色を理解するだけでなく、事象間の関連を考察しながら学習した地域的特色を総合的にとらえる力や、様々な資料を適切に選択・活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し表現する力を身に付けさせることが重要となる。
- 2 問題2は、歴史的分野に関する出題とし、問1は古代から近世、問2は近世から現代までの歴史を出題した。問1(4)《室町時代の琉球の交易》、問2(1)《幕藩体制のしくみ》などは正答率が高く、様々な資料やグラフを活用して歴史的事象を適切に説明する力は身に付いている。一方、問1(2)《平安時代の文化》、問1(5)《戦国大名の政策》や問2(3)《明治政府の政策》の正答率が伸びず、各時代の文化や歴史的事象に関する知識の習得に課題が見られる。また、問2(4)《2つの大戦間のできごと》の正答率が1割と低く、歴史的事象について時代の流れをとらえることに課題が見られる。我が国の歴史の大きな流れを理解する学習を重視するとともに、近現代史の学習を一層充実させ、日常の社会生活と関連付けながら現代社会の見方・考え方を養うことが重要である。
- 3 問題3は、公民的分野に関する出題とした。問2(1)《選挙の基本原則》や問2(3)《消費者問題》の正答率は7割を超え、選挙や消費者問題に関する学習の充実が感じられる。また、問3(3)《男女共同参画社会》の正答率も7割を超え、様々な資料やグラフから事実を正確にとらえ、適切に表現する力は身に付いている。一方、問4(1)《企業の責任》、問4(3)《価格の働き》の正答率が4割程度と低く、経済分野に関する基礎的・基本的な知識等に課題が見られる。今後は、経済分野についての関心を高め、現代社会の見方・考え方の基礎を育成するとともに、社会の形成に参画する態度を養うことが重要となる。公民的分野に関する知識を習得するだけでなく、様々な資料を適切に収集した上で多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断する力を養うことが大切である。
- 4 事象間の関連を考察しながら、既習事項を総合的にとらえる問題や様々な資料から考察に必要な情報を読み取り、分析する問題を出題した。総合的にみると、3分野とも様々な資料やグラフを読み取り分析する資料活用の習得が図られていると思われる。一方で、基礎的・基本的な知識や概念を関連付けたり、総合的に判断したりする力について課題が見られた。今後も、社会の出来事や動向と関連させながら、公民的資質の基礎を養うために、小学校からの学びを踏まえた学習の充実を図ることはもちろんのこと、他教科で身に付けた能力も積極的に活用しながら授業づくりをすることが求められる。

## 《 数 学 》

### 【出題の基本方針】

- 1 各学年の学習内容について、基礎的・基本的事項に関する理解をみるとともに、計算する力・表現する力が身につけているかをみる。
- 2 基本的な概念や原理・法則を生かして、見通しをもって問題を分析し、処理する力をみる。
- 3 数学的な見方や考え方を活用して、対象を論理的に考察し、課題を解決する力をみる。
- 4 日常生活における題材について、数理的に考察し、処理する力をみる。

### 【結果の概要】

- 1 問題1は小問集合とし、各学年で学習する基礎的・基本的事項の理解度及び基本的な計算力を見る問題を出題した。問7までは概ね正答率が高く、良好な結果であった。全国学力・学習状況調査での課題として出題した、根拠を基に数学的な表現を用いて論理的に説明する力を問う問題では、三角形の合同を証明する基本的な問題については、例年に比べ正答率が高かったが、数式を活用して整数の倍数であることを表現する問題については正答率が低かった。日頃の学習を通じて、説明する力の育成を図りたい。
- 2 問題2は、資料を基に考察し、多角的に資料を分析する力を問う問題とした。昨年度に続き、最頻値を求める問題を出題したが、正答率は昨年度を下回った。代表値を求め、その性質を正しく理解し、資料全体から必要な情報を読みとることができる力の育成が改めて必要である。
- 3 問題3は、確率を求め、根拠に基づいて判断する力を問う問題とした。説明を要する問題としては無答率が低く、積極的に取り組まれていたが、確率を求める際の誤答が多くみられた。確率についての基礎的・基本的な事項を理解する力や正確に計算する力の育成が重要である。
- 4 問題4は、身近な場面での情報の処理について、式を用いて数理的に考察し、課題を解決する力を問う問題とした。事象を考察して方程式を立てる問題、またその方程式を解く問題の正答率が低く、与えられた様々な複数の情報から数式を立てる力や、小数や分数、割合を扱う問題を解決する力の育成が引き続き重要である。
- 5 問題5は、事象を数式やグラフを活用して表現・処理し、課題を解決する力を問う問題とした。動点の動きを把握し、数式を用いて表現する問題の正答率が低く、事象を読み取り数学的に表現する力の育成が引き続き重要である。
- 6 問題6は、座標平面に表れる図形を題材とし、数学的な見方や考え方を活用して図形を認識し、課題を解決する力を問う問題とした。2点間の距離を求める問題や、直角であることを証明する問題の正答率が低く、三平方の定理などを多様に活用する力の育成が重要である。

## 《 理 科 》

### 【出題の基本方針】

- 1 自然の事物や現象について、基礎的・基本的な事項を理解し、知識が身についているかをみる。
- 2 自然の事物や現象の中に規則性・法則性を見いだすなど、科学的な見方や考え方が身についているかをみる。
- 3 観察・実験で得た結果を処理し、総合的に考察して、自らの考えを表現する力をみる。
- 4 身近な自然の事物や現象に興味・関心をもち、科学的に探究する態度が育っているかをみる。

### 【結果の概要】

- 1 問題1は、生物分野に関する出題とした。動物に関する基礎的・基本的な知識と動物の共通点、相違点について分析するなどの科学的な思考力をみる問題である。重要語句を問う問題では正答率が高く、基本的事項の定着が見られた。問3(2)の動物の共通点を見いだす問いでは、正答率が15.7%と低かった。動物の特徴を的確にとらえ分析する力の育成が必要である。
- 2 問題2は、化学分野に関する出題とした。鉄と硫黄を化合させる実験を通して、科学的な見方や考え方が身に付いているかをみる問題である。問3の鉄と硫黄が化合したときの化学変化を化学反応式で表す問題では、正答率が76.1%と高かった。単体の物質同士の化学変化であり、化学反応式の基本的な知識は定着していた。問1の試験管の加熱部分を問う問題では、正答率が30.5%、問5の発生した気体の性質を問う問題では27.9%と低かった。実験の基礎的な操作を習得させ、結果を分析して解釈する力を育成する指導の工夫が必要である。
- 3 問題3は、地学分野に関する出題とした。火山岩と深成岩のつくりの違いについて、予想を立てて実験・検証していく過程を通して、火成岩に関する知識・理解を問う問題である。問3の火山岩ができるときの条件を問う問題では、正答率が79.2%と高かったが、問4(2)の山陰海岸ジオパークに関する問題では、正答率が46.7%と低かった。身近な事物と関連付けながら科学的に探究する能力を高める指導の工夫が必要である。
- 4 問題4は、物理分野に関する出題とした。浮力の実験を通して、科学的な見方や考え方が身に付いているかをみる問題である。問1のフックの法則を問う問題では、正答率が88.8%、問2のグラフからばねののびを予測する問題では、正答率が93.4%と非常に高かった。問3(3)の実験結果から浮力の性質を問う問題では、正答率が45.7%と低かった。実験結果を的確にとらえ、科学的な思考力を養う指導の工夫が必要である。
- 5 問題5は、化学分野に関する出題とした。身近なもので電池をつくる実験を通して、科学的な見方や考え方が身に付いているかをみる問題である。問1の20%の食塩水150gに必要な食塩の質量を問う問題では、正答率が75.6%と高く、濃度の基本的な計算の定着が見られた。問3のアルミニウムはくがボロボロになった理由を問う問題では、正答率が32.5%と低かった。「電子を受け取ったから」「電子が通ったから」などの誤答が多く、電池の仕組みについて科学的にとらえ、さらに、生じた現象について科学的に説明する力の育成が必要である。
- 6 問題6は、生物分野に関する出題とした。エンドウを用いて遺伝の規則性について調べる実験を通して、遺伝の規則性を見いだす力をみる問題である。問2の子の遺伝子の組み合わせを問う問題では、正答率が79.7%と高く、遺伝についての基本的な知識の定着が見られた。
- 7 問題7は、物理分野に関する出題とした。電圧と電流の関係を調べる実験を通して、回路の違いによる電流、電圧及び消費電力の関係について、科学的な見方や考え方が身に付いているかを問う問題である。問4の回路による消費電力の違いを問う問題では、正答率が31.0%と低かった。直列回路と並列回路での消費電力の違いについて、理解を深めるような指導の工夫が必要である。
- 8 問8は、地学分野に関する出題とした。星空の観測を通して、身近な自然への興味・関心をみる問題とした。問2の恒星の日周運動について問う問題では、正答率が39.6%と低かった。日頃から、身近な自然に興味・関心を持たせ、自ら探究する態度を育成する指導の工夫が必要である。



## 《 英 語 》

### 【出題の基本方針】

- 1 「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の各領域にわたる基礎的・基本的知識と、それを活用する力が身についているかをみる。
- 2 日常生活の身近な事柄などについて、短い英語やまとまりのある英語を聞いて、情報を正確に聞き取ったり、話し手の意向などを理解したりする力をみる。
- 3 日常生活の身近な事柄などについて、初歩的な英語を用いて、自分の考えなどを表現する力をみる。
- 4 まとまりのある英文を読んで、本文や対話の流れを理解したり、重要な情報を正確に読み取ったりする力をみる。
- 5 物語文やスピーチ原稿を読んで、本文の展開や、登場人物の考えや気持ちなどを正確に読み取る力をみる。

### 【結果の概要】

- 1 問題1の「聞くこと」に関する問題では、求められる情報を直接的に聞き取る問題の正答率は高かったが、聞き取った情報を条件に合わせて編集し解答する問題の正答率は低かった。今後は、授業で話し手の意向を主体的に理解しようとする態度を育成するとともに、話の内容を正確に聞き取り、聞き取った情報をもとに思考判断しながらやりとりをする言語活動の充実が必要である。
- 2 問題2の語彙及び文法運用に関する問題では、基礎的な語句や表現は、音声としての定着度は概ね良好であるが、正確な綴りで書くことや適切な語順で書くことができていない答案が見受けられた。教科書基本文レベルの表現や発信語彙にあたる語句については、身近な場面設定による授業中の言語活動を通して、4技能全てにおいて活用できる力をつけておくことが必要である。
- 3 問題3は、場面や話者の意図に応じた表現の運用力と、自分の意見や考えを理由と合わせて英語で述べる表現力（テーマ作文）をみた。誤答・無回答率は減少しているが正答率は昨年並みであることから、自分の意見や考えを適切に英語で表現する力については依然として課題がみられる。表現力を高めるためには、授業の中で、場面や状況に応じて既習の知識を活用できる言語活動を設定し、自分の意見や考えを読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりや文章の構成を意識して、全体として一貫性のある文章を書く指導が必要である。
- 4 問題4の「読むこと」に関する問題では、鳥取県を訪れる外国人観光者数を題材に、中学生とALTとの会話をもとにしたグラフを含む読解問題を出題し、述べてある事柄や情報を正確に読み取る力をみた。事実に関する内容理解やグラフの読み取りの設問では高い正答率であったが、グラフから得られる情報をもとに英語で表現したり、会話の内容を正確に理解し必要な情報を過不足なく記述したりする問題では低い正答率となった。授業の中で、グラフや文章から得られる情報を正確に理解し、活用する言語活動の充実が求められる。
- 5 問題5の「読むこと」に関する問題では、日本人看護師の海外医療支援活動について書かれた物語を題材に、本文の展開や登場人物の心情を、主体的な読解をとおして理解する力をみた。段落および文章全体の主旨を理解し、必要な情報を読み取り、求められる条件に沿って適切に記述する力などに課題がみられた。授業の中で、書き手の意向を主体的に理解しようとする態度を育成しながら、得られる情報を組み合わせて考察し、適切に表現する指導の充実が必要である。

平成31年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【国語】（答案数：197）

問題番号		内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率
問題一	問一	(1) 漢字の読み	記述	192	97.5%	0	0.0%	5	2.5%	0	0.0%
		(2) 漢字の読み	記述	165	83.8%	0	0.0%	25	12.7%	7	3.6%
		(3) 漢字の書き	記述	129	65.5%	0	0.0%	62	31.5%	6	3.0%
		(4) 漢字の書き	記述	88	44.7%	0	0.0%	97	49.2%	12	6.1%
	問二	語句の知識	記号	130	66.0%	0	0.0%	64	32.5%	3	1.5%
	問三	書写の知識	記号	67	34.0%	0	0.0%	128	65.0%	2	1.0%
問四	語句の知識	記述	13	6.6%	0	0.0%	182	92.4%	2	1.0%	
問五	漢文の知識	記号	106	53.8%	0	0.0%	89	45.2%	2	1.0%	
問題二	問一	文法の知識	記号	121	61.4%	0	0.0%	76	38.6%	0	0.0%
	問二	内容の理解	記述	19	9.6%	21	10.7%	110	55.8%	47	23.9%
	問三	内容の理解	記号	168	85.3%	0	0.0%	28	14.2%	1	0.5%
	問四	内容の理解	記述	134	68.0%	0	0.0%	55	27.9%	8	4.1%
	問五	内容の理解	記号	104	52.8%	0	0.0%	91	46.2%	2	1.0%
	問六	(1) 内容の理解	記述	93	47.2%	15	7.6%	72	36.5%	17	8.6%
(2) 内容の理解		記述	45	22.8%	1	0.5%	110	55.8%	41	20.8%	
問題三	問一	文脈の理解	記述	98	49.7%	1	0.5%	62	31.5%	36	18.3%
	問二	文脈の理解	記号	81	41.1%	0	0.0%	114	57.9%	2	1.0%
	問三	文脈の理解	記号	69	35.0%	0	0.0%	127	64.5%	1	0.5%
	問四	内容の理解	記号	111	56.3%	0	0.0%	84	42.6%	2	1.0%
	問五	内容の理解	記述	21	10.7%	45	22.8%	77	39.1%	54	27.4%
	問六	文脈の理解	記号	113	57.4%	0	0.0%	78	39.6%	6	3.0%
	問七	内容の理解	記号	118	59.9%	0	0.0%	71	36.0%	8	4.1%
問題四	問一	歴史的仮名遣い	記述	183	92.9%	0	0.0%	10	5.1%	4	2.0%
	問二	文脈の理解	記述	111	56.3%	0	0.0%	74	37.6%	12	6.1%
	問三	文脈の理解	記号	139	70.6%	0	0.0%	51	25.9%	7	3.6%
	問四	(1) 内容の理解	記号	147	74.6%	0	0.0%	45	22.8%	5	2.5%
		(2) 内容の理解	記述	70	35.5%	20	10.2%	76	38.6%	31	15.7%
(3) 内容の理解		記述	46	23.4%	0	0.0%	125	63.5%	26	13.2%	
問題五	問一	文法の知識	記号	176	89.3%	0	0.0%	17	8.6%	4	2.0%
	問二	文法の知識	記号	136	69.0%	0	0.0%	57	28.9%	4	2.0%
	問三	話合いについての知識・理解	記号	160	81.2%	0	0.0%	32	16.2%	5	2.5%
	問四	話合いについての知識・理解	記号	141	71.6%	0	0.0%	50	25.4%	6	3.0%
	問五	目的に応じた表現	記述	32	16.2%	106	53.8%	45	22.8%	14	7.1%

平成31年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【社会】 (答案数：197)

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題1	問1	1 国名	語句記述	123	62.4%	0	0.0%	66	33.5%	8	4.1%
		1 世界各地の生活と環境	記号選択	131	66.5%	0	0.0%	65	33.0%	1	0.5%
		2 対せき点	記号選択	115	58.4%	0	0.0%	82	41.6%	0	0.0%
		3 雨温図	記号選択	110	55.8%	0	0.0%	86	43.7%	1	0.5%
	問2	1 エネルギー資源	記号選択	90	45.7%	0	0.0%	107	54.3%	0	0.0%
		2 新興国の経済成長	語句記述	104	52.8%	0	0.0%	85	43.1%	8	4.1%
		3 世界の料理	記号選択	121	61.4%	0	0.0%	76	38.6%	0	0.0%
	問3	1 都道府県の特徴	語句記述	102	51.8%	0	0.0%	94	47.7%	1	0.5%
			記号選択								
		2 各都道府県の工業	記号選択	151	76.6%	0	0.0%	45	22.8%	1	0.5%
		3 日本の発電	記号選択	172	87.3%	0	0.0%	25	12.7%	0	0.0%
	問4	4 中部地方の特色	記号選択	98	49.7%	0	0.0%	99	50.3%	0	0.0%
		1 地形図	記号選択	157	79.7%	0	0.0%	40	20.3%	0	0.0%
	問4	2 地形図上の距離	語句記述	93	47.2%	0	0.0%	98	49.7%	6	3.0%
地理的分野			1567	61.2%	0	0.0%	968	37.8%	26	1.0%	
問題2	問1	1 奈良時代の都	語句記述	129	65.5%	0	0.0%	65	33.0%	3	1.5%
		2 平安時代の文化	記号選択	94	47.7%	0	0.0%	103	52.3%	0	0.0%
		3 鎌倉幕府のしくみ	記号選択	144	73.1%	0	0.0%	52	26.4%	1	0.5%
		4A 室町時代の琉球の交易	説明	148	75.1%	0	0.0%	37	18.8%	12	6.1%
				4B	100	50.8%	46	23.4%	36	18.3%	15
		5 戦国大名の政策	語句記述	102	51.8%	0	0.0%	72	36.5%	23	11.7%
	6 江戸時代の政策	記号選択	130	66.0%	0	0.0%	66	33.5%	1	0.5%	
		語句記述	119	60.4%	0	0.0%	56	28.4%	22	11.2%	
	問2	1 幕藩体制のしくみ	語句記述	158	80.2%	2	1.0%	28	14.2%	9	4.6%
		2 市民革命	記号選択	163	82.7%	0	0.0%	33	16.8%	1	0.5%
		3 明治政府の政策	語句記述	91	46.2%	0	0.0%	81	41.1%	25	12.7%
4 2つの大戦間のできごと		並べ替え	20	10.2%	0	0.0%	176	89.3%	1	0.5%	
5 戦後の社会		記号選択	98	49.7%	0	0.0%	99	50.3%	0	0.0%	
歴史的分野			1496	58.4%	48	1.9%	904	35.3%	113	4.4%	
問題3	問1	1 地方自治	記号選択	103	52.3%	0	0.0%	94	47.7%	0	0.0%
		2① 環境問題	語句記述	117	59.4%	0	0.0%	47	23.9%	33	16.8%
			2②	記号選択	137	69.5%	0	0.0%	59	29.9%	1
	問2	1A 選挙の基本原則	語句記述	166	84.3%	0	0.0%	23	11.7%	8	4.1%
			1B	語句記述	143	72.6%	0	0.0%	41	20.8%	13
		2 衆議院の権限	記号選択	122	61.9%	0	0.0%	73	37.1%	2	1.0%
	問3	3 消費者問題	語句記述	151	76.6%	0	0.0%	26	13.2%	20	10.2%
		1 国際連合の機関	記号選択	159	80.7%	0	0.0%	38	19.3%	0	0.0%
		2 国際理解	語句記述	94	47.7%	4	2.0%	78	39.6%	21	10.7%
		3 男女共同参画社会	記号選択	144	73.1%	0	0.0%	53	26.9%	0	0.0%
	問4	1 企業の責任	語句記述	80	40.6%	0	0.0%	58	29.4%	59	29.9%
2 景気と政策		記号選択	128	65.0%	0	0.0%	67	34.0%	2	1.0%	
3 価格の働き		説明	79	40.1%	13	6.6%	89	45.2%	16	8.1%	
市民的分野			1623	63.4%	17	0.7%	746	29.1%	175	6.8%	

平成31年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【数学】（答案数：197）

問題番号		内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率
問題1	問1	(1) 正の数・負の数の計算	計算	191	97.0%	0	0.0%	6	3.0%	0	0.0%
		(2) 分数の計算（異符号の商）	計算	189	95.9%	0	0.0%	8	4.1%	0	0.0%
		(3) 平方根を含む式の計算	計算	169	85.8%	0	0.0%	25	12.7%	3	1.5%
		(4) 多項式の計算（差）	計算	180	91.4%	0	0.0%	16	8.1%	1	0.5%
		(5) 単項式の計算（乗・除）	計算	148	75.1%	0	0.0%	46	23.4%	3	1.5%
	問2	多項式の計算（乗法）	計算	149	75.6%	0	0.0%	43	21.8%	5	2.5%
	問3	式の値	計算	163	82.7%	0	0.0%	32	16.2%	2	1.0%
	問4	因数分解	計算	172	87.3%	0	0.0%	19	9.6%	6	3.0%
	問5	等式の変形	計算	153	77.7%	0	0.0%	30	15.2%	14	7.1%
	問6	円周角と中心角	計算	180	91.4%	0	0.0%	13	6.6%	4	2.0%
	問7	二次方程式の解の公式	計算	154	78.2%	0	0.0%	32	16.2%	11	5.6%
問8	文字式の利用	記述	62	31.5%	51	25.9%	51	25.9%	33	16.8%	
問9	証明の進め方	記述	102	51.8%	49	24.9%	15	7.6%	31	15.7%	
問10	作図（無理数）	作図	29	14.7%	29	14.7%	86	43.7%	53	26.9%	
2問題	問1	最頻値	計算	157	79.7%	0	0.0%	36	18.3%	4	2.0%
	問2	ヒストグラムの比較	選択	73	37.1%	72	36.5%	51	25.9%	1	0.5%
問題3	問1	確率の意味	選択	144	73.1%	0	0.0%	52	26.4%	1	0.5%
	問2	確率の計算	計算	142	72.1%	0	0.0%	52	26.4%	3	1.5%
	問3	確率を活用した説明	記述	95	48.2%	6	3.0%	74	37.6%	22	11.2%
問題4	問1	(1) 割合の計算	計算	160	81.2%	0	0.0%	30	15.2%	7	3.6%
		(2) 割合の計算	計算	150	76.1%	0	0.0%	41	20.8%	6	3.0%
	問2	ア 文字式の利用	立式	159	80.7%	0	0.0%	18	9.1%	20	10.2%
		イ 割合の活用	立式	108	54.8%	0	0.0%	61	31.0%	28	14.2%
		ウ 連立方程式の立式	立式	56	28.4%	3	1.5%	68	34.5%	70	35.5%
問2	(2) 連立方程式の利用	計算	17	8.6%	0	0.0%	61	31.0%	119	60.4%	
問題5	問1	一次関数（直線の傾き）	計算	167	84.8%	0	0.0%	19	9.6%	11	5.6%
	問2	関数の値の変域（反比例）	計算	122	61.9%	0	0.0%	59	29.9%	16	8.1%
	問3	(1) いろいろな事象と関数	立式	45	22.8%	3	1.5%	80	40.6%	69	35.0%
		(2) 1次関数の利用・いろいろな関数	グラフ	20	10.2%	53	26.9%	54	27.4%	70	35.5%
	(3) いろいろな関数	計算	12	6.1%	22	11.2%	62	31.5%	101	51.3%	
問題6	問1	1次関数のグラフ	計算	157	79.7%	0	0.0%	20	10.2%	20	10.2%
	問2	連立方程式とグラフ	計算	126	64.0%	3	1.5%	32	16.2%	36	18.3%
	問3	2点間の距離	計算	120	60.9%	0	0.0%	44	22.3%	33	16.8%
	問4	三平方の定理の逆	計算・記述	39	19.8%	29	14.7%	80	40.6%	49	24.9%
	問5	円周角の定理の逆・球の体積・回転体	計算	4	2.0%	1	0.5%	47	23.9%	145	73.6%

平成31年度 鳥取県高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【理科】（答案数：197）

問題番号		内容	出題形式		正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題1	問1	無脊椎動物の特徴	記述	語句	181	91.9%	0	0.0%	15	7.6%	1	0.5%	
	問2	なかまのふやし方	記述	語句	162	82.2%	0	0.0%	29	14.7%	6	3.0%	
	問3	(1)	動物の特徴にもとづいて分類	選択	語句選択	128	65.0%	0	0.0%	67	34.0%	2	1.0%
		(2)	動物の特徴	記述	説明	31	15.7%	0	0.0%	153	77.7%	13	6.6%
	問4	相同器官について	記述	語句	169	85.8%	0	0.0%	20	10.2%	8	4.1%	
問題2	問1	鉄と硫黄の加熱の仕方	選択	記号選択	60	30.5%	0	0.0%	136	69.0%	1	0.5%	
	問2	鉄と硫黄の反応でできる物質	記述	語句	156	79.2%	0	0.0%	35	17.8%	6	3.0%	
	問3	鉄と硫黄の化学反応式	記述	化学式等	150	76.1%	1	0.5%	33	16.8%	13	6.6%	
	問4	物質の量的関係	記述	計算	80	40.6%	0	0.0%	110	55.8%	7	3.6%	
	問5	発生した気体の性質	記述	記号選択	55	27.9%	0	0.0%	141	71.6%	1	0.5%	
問題3	問1	火山岩のつくり	記述	語句	120	60.9%	0	0.0%	70	35.5%	7	3.6%	
	問2	深成岩のつくり	記述	語句	142	72.1%	0	0.0%	43	21.8%	12	6.1%	
	問3	火山岩のでき方	選択	記号選択	156	79.2%	0	0.0%	41	20.8%	0	0.0%	
	問4	(1)	冬にふく季節風	選択	記号選択	160	81.2%	0	0.0%	36	18.3%	1	0.5%
		(2)	深成岩の特徴	記述	語句	92	46.7%	0	0.0%	84	42.6%	21	10.7%
問題4	問1	フックの法則について	記述	語句	175	88.8%	0	0.0%	17	8.6%	5	2.5%	
	問2	ばねののび	記述	計算	184	93.4%	0	0.0%	11	5.6%	2	1.0%	
	問3	(1)	物体Aの重さ	記述	計算	116	58.9%	0	0.0%	73	37.1%	8	4.1%
		(2)	物体Aにはたらく浮力の大きさ	記述	計算	90	45.7%	0	0.0%	95	48.2%	12	6.1%
		(3)	浮力の性質について考察	選択	記号選択	90	45.7%	0	0.0%	106	53.8%	1	0.5%
問題5	問1	質量パーセント濃度から食塩の質量を計算	記述	計算	149	75.6%	0	0.0%	44	22.3%	4	2.0%	
	問2	(1)	水溶液の性質を理解し、実験結果を予測	選択	記号選択	125	63.5%	0	0.0%	70	35.5%	2	1.0%
		(2)	オルゴールの音が鳴った水溶液の共通した特徴	記述	説明	124	62.9%	0	0.0%	65	33.0%	8	4.1%
	問3	実験で生じた現象について	記述	説明	64	32.5%	4	2.0%	115	58.4%	14	7.1%	
	問4	太陽光発電の特徴	記述	説明	161	81.7%	0	0.0%	27	13.7%	9	4.6%	
問題6	問1	優性の法則	記述	語句	127	64.5%	0	0.0%	64	32.5%	6	3.0%	
	問2	遺伝子の組み合わせ	記述	その他	157	79.7%	0	0.0%	36	18.3%	4	2.0%	
	問3	遺伝子の組み合わせ	記述	その他	197	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	問4	優性形質をもつ種子の数	選択	記号選択	129	65.5%	0	0.0%	68	34.5%	0	0.0%	
	問5	現れる形質の比	記述	計算	197	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
問題7	問1	正しい回路図	選択	記号選択	176	89.3%	0	0.0%	21	10.7%	0	0.0%	
	問2	(1)	抵抗値の計算	記述	計算	142	72.1%	0	0.0%	45	22.8%	10	5.1%
		(2)	消費電力の計算	記述	計算	113	57.4%	0	0.0%	73	37.1%	11	5.6%
	問3	並列回路での電圧と電流の関係	記述	作図	83	42.1%	0	0.0%	98	49.7%	16	8.1%	
問4	回路による消費電力の違い	選択	記号選択	61	31.0%	0	0.0%	135	68.5%	1	0.5%		
問題8	問1	光年について	記述	語句	175	88.8%	0	0.0%	14	7.1%	8	4.1%	
	問2	北の空の星の見かけの動き	選択	記号選択	78	39.6%	0	0.0%	118	59.9%	1	0.5%	
	問3	赤道付近における星の見かけの動き	選択	記号選択	110	55.8%	0	0.0%	86	43.7%	1	0.5%	
	問4	(1)	銀河系について	記述	語句	97	49.2%	0	0.0%	95	48.2%	5	2.5%
(2)		銀河系の形について	選択	記号選択	147	74.6%	0	0.0%	49	24.9%	1	0.5%	



平成31年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【英語】（答案数：197）

問題番号		内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題1	問1	No.1	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	159	80.7%	0	0.0%	38	19.3%	0	0.0%
		No.2	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	134	68.0%	0	0.0%	63	32.0%	0	0.0%
		No.3	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	124	62.9%	0	0.0%	72	36.5%	1	0.5%
	問2	No.1	対話の聞き取り	記号選択	103	52.3%	0	0.0%	93	47.2%	1	0.5%
		No.2	対話の聞き取り	記号選択	76	38.6%	0	0.0%	121	61.4%	0	0.0%
	問3	(1)	まとまりのある説明の聞き取り	語句補充	128	65.0%	0	0.0%	61	31.0%	8	4.1%
		(2)	まとまりのある説明の聞き取り	語句補充	84	42.6%	0	0.0%	109	55.3%	4	2.0%
		(3)	まとまりのある説明の聞き取り	語句補充	129	65.5%	0	0.0%	52	26.4%	16	8.1%
	問4	Ques.1	まとまりのある対話の聞き取り	記号選択	64	32.5%	0	0.0%	133	67.5%	0	0.0%
		Ques.2	まとまりのある対話の聞き取り	記号選択	138	70.1%	0	0.0%	59	29.9%	0	0.0%
Ques.3		まとまりのある対話の聞き取り	記号選択	153	77.7%	0	0.0%	43	21.8%	1	0.5%	
問題2	問1	No.1	対話文中の単語補充	単語補充	129	65.5%	0	0.0%	60	30.5%	8	4.1%
		No.2	対話文中の単語補充	単語補充	109	55.3%	0	0.0%	74	37.6%	14	7.1%
		No.3	対話文中の単語補充	単語補充	98	49.7%	0	0.0%	84	42.6%	15	7.6%
	問2	No.1	対話文中の語句整序作文	語句整序	145	73.6%	0	0.0%	49	24.9%	3	1.5%
		No.2	対話文中の語句整序作文	語句整序	35	17.8%	0	0.0%	157	79.7%	5	2.5%
問題3	問1	No.1	対話文完成(英文記述)	英文記述	77	39.1%	16	8.1%	83	42.1%	21	10.7%
		No.2	対話文完成(英文記述)	英文記述	29	14.7%	28	14.2%	93	47.2%	47	23.9%
	問2	テーマ英作文(意見と理由)	テーマ英作文	37	18.8%	246	57.4%	29	14.7%	18	9.1%	
問題4	問1	・内容(グラフ)把握(記号選択)	日本文記述	146	74.1%	0	0.0%	50	25.4%	1	0.5%	
	問2	・内容把握(英語補充)	西暦記述	26	13.2%	0	0.0%	141	71.6%	30	15.2%	
	問3	・内容把握(英文選択)	英文記述	134	68.0%	0	0.0%	59	29.9%	4	2.0%	
	問4	・内容把握(和文記述)	記号選択	56	28.4%	47	23.9%	63	32.0%	31	15.7%	
	問5	・内容把握(英文記述)	記号選択	63	32.0%	32	16.2%	63	32.0%	39	19.8%	
	問6	・内容把握(英文選択)	記号選択	114	57.9%	0	0.0%	81	41.1%	2	1.0%	
問題5	問1	・内容把握(和文選択)	記号選択	173	87.8%	0	0.0%	23	11.7%	1	0.5%	
	問2	・内容把握(英語補充)	記号選択	28	14.2%	6	3.0%	140	71.1%	23	11.7%	
	問3	・内容把握(和文記述)	単語補充	26	13.2%	24	12.2%	94	47.7%	53	26.9%	
	問4	・内容把握(英文選択)	記号選択	118	59.9%	0	0.0%	78	39.6%	1	0.5%	
	問5	・内容把握(英文選択)	日本文記述	116	58.9%	0	0.0%	80	40.6%	1	0.5%	
	問6	・内容把握(英語補充)	単語補充	49	24.9%	0	0.0%	125	63.5%	23	11.7%	